

# 平成30年7月豪雨を踏まえた 高梁川本川沿川4市長との意見交換会

- (1) ハード・ソフト対策の取り組み状況
  - (2) 高梁川上流ダム群の取り組み状況
  - (3) 意見交換
- 

令和3年5月17日

国土交通省中国地方整備局

## (1) ハード・ソフトの取り組み状況

---

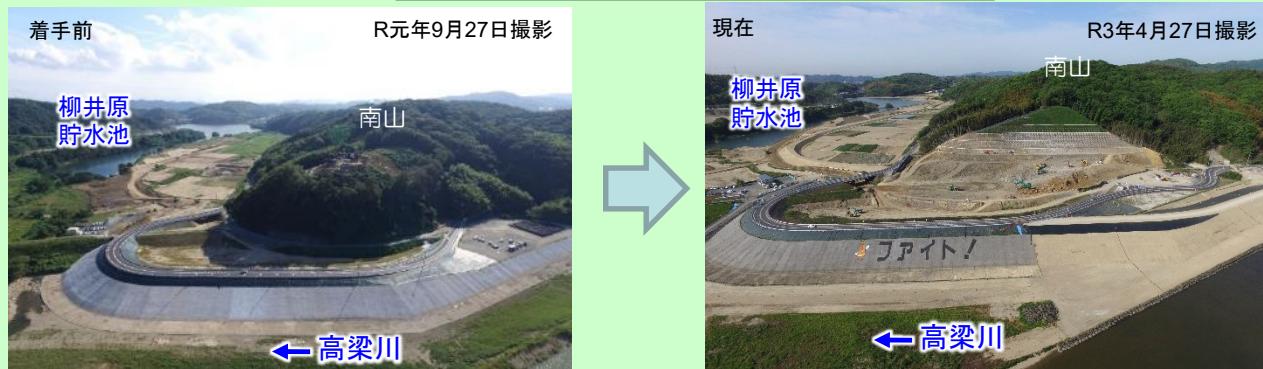
令和3年5月17日

# ハード対策の取り組み状況（高梁川水系）

- ①再度災害防止に向け国で実施する河川激甚災害対策特別緊急事業等の小田川合流点付替え事業については、主たる工事である南山の掘削工事、新合流点付近では橋梁工事を実施中。また、小田川堤防強化については、有井地区が出水期までに完成予定。服部地区の一部を除く全地区で令和3年度内に完成予定
- ②高梁川では「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として実施中の河道掘削・樹木伐採、浸透対策、高潮耐震対策に続き、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として令和3年度は堤防強化等のハード対策を実施する予定。

## ① 再度災害防止（河川激甚災害対策特別緊急事業等）

小田川合流点付替え事業（南山掘削）の状況



**事業内容**  
※事業の進捗については次頁

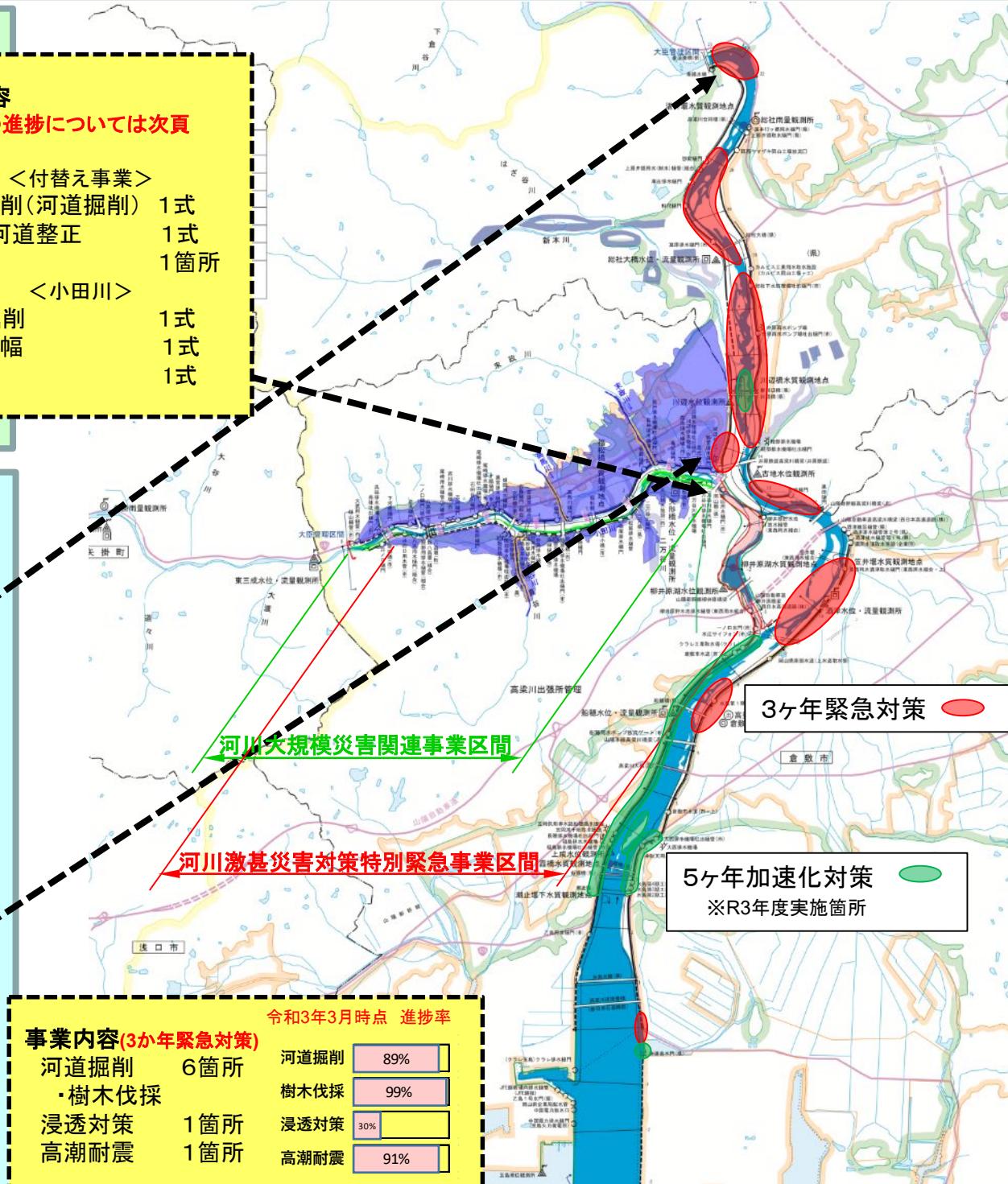
＜付替え事業＞	
南山掘削（河道掘削）	1式
築堤・河道整正	1式
橋梁	1箇所
＜小田川＞	
河道掘削	1式
堤防拡幅	1式
その他	1式

## ② 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策

秦地区（総社市）の状況



川辺地区（倉敷市）の状況

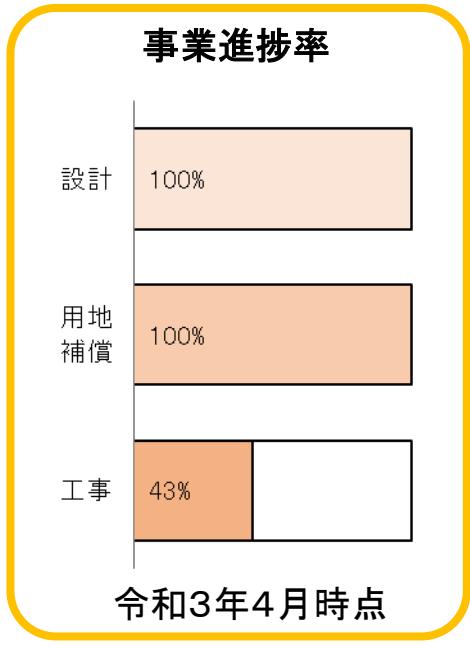
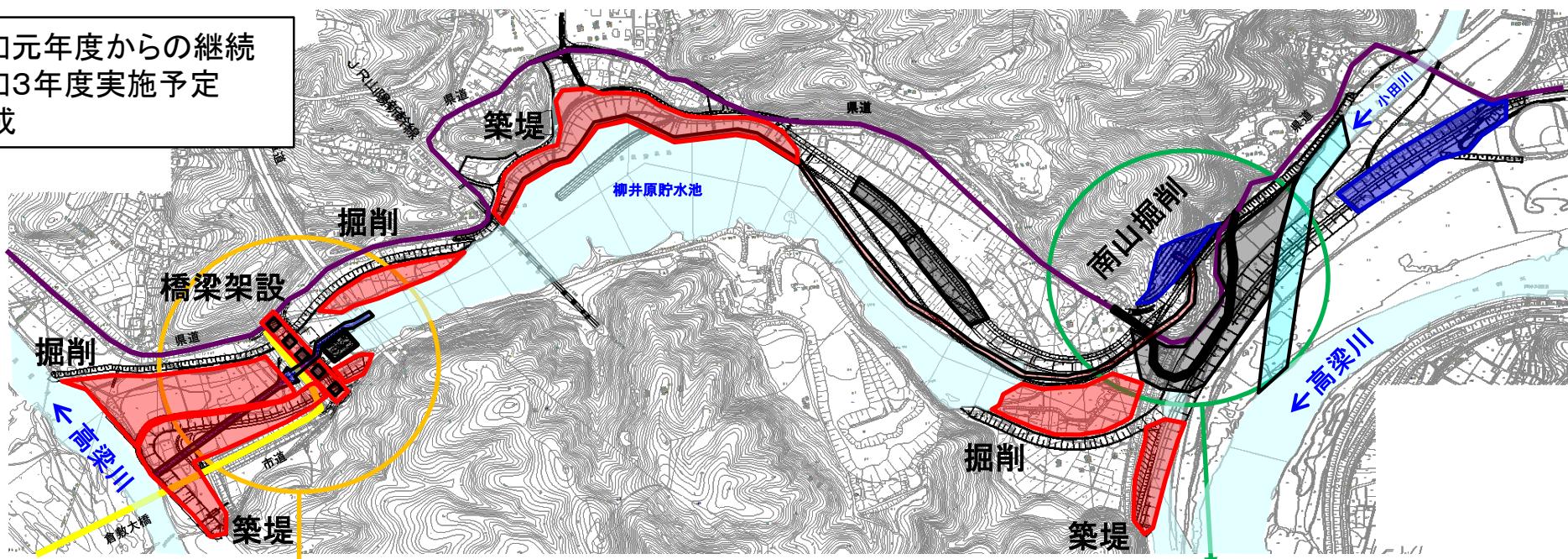


令和3年3月時点 進捗率

事業内容(3か年緊急対策)		河道掘削	89%
河道掘削	6箇所	樹木伐採	99%
・樹木伐採		浸透対策	30%
浸透対策	1箇所	高潮耐震	91%
高潮耐震	1箇所		

# ハード対策の取り組み状況（小田川合流点付替え事業）

■ 令和元年度からの継続  
■ 令和3年度実施予定  
■ 完成



## 橋梁架設（令和4年度市道供用予定）

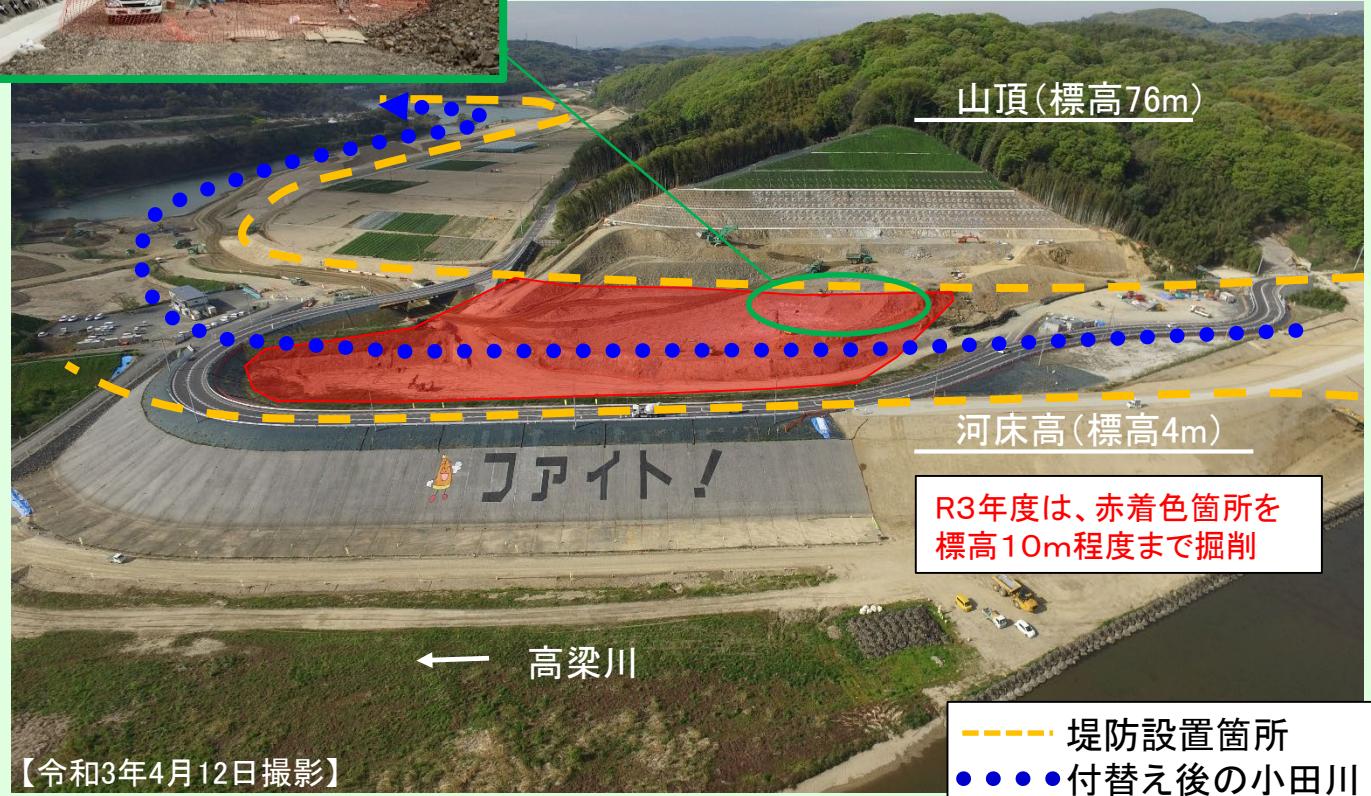
**【工事予定】**  
 令和1～2年度：下部工  
 令和3年度：上部工架設  
 令和4年度：供用予定



## 河道掘削（南山掘削含む）（令和5年度完成予定）



**【工事進捗】**  
 令和1年度：工事用道路を設置し山頂から掘削開始  
 令和2年度：山頂から約40m掘削  
 令和3～5年度：掘削を進め河道化



R3年度は、赤着色箇所を標高10m程度まで掘削

- - - 堤防設置箇所  
●●●● 付替え後の小田川

# 高梁川の河道掘削及び樹木伐採の効果

- 平成30年7月豪雨を契機に、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として高梁川の河道掘削・樹木伐採を実施。
  - 3か年緊急対策による整備効果は、平成30年7月豪雨と同規模の大雨が降った場合、対策前と比べて、高梁川本川（大臣管理区間）において**水位が約0.5m※低下**すると推計。
- ※大臣管理区間のうち、対策を実施した6.6k～上流端の水位低減効果の平均値

## 3か年緊急対策の実施範囲



## 3か年緊急対策の実施状況

高梁川10.2k付近（河道掘削）



高梁川20.0k付近（樹木伐採）



## 効果の算出条件と効果

	実施前	実施後
対象降雨	H30.7月豪雨と同規模	H30.7月豪雨と同規模
河道の状況	平成30年7月時点	平成30年7月豪雨以降、令和3年6月までの工事を反映 ※R3.4～6月の工事は想定する内容を反映
整備効果	大臣管理区間において、 <b>水位が約0.5m※低下</b> すると推計 ※大臣管理区間のうち、対策を実施した6.6k～上流端の水位低減効果の平均値	

## 3か年緊急対策の実施内容

河道掘削	708千m <sup>3</sup>
樹木伐採	1,201千m <sup>2</sup>
事業費	約83億円

# ハード対策の取り組み状況

- ① 高梁川水系の県管理区間で被災した280箇所の災害復旧工事はすべて契約済、約9割の箇所で完了（令和3年3月末時点）。
- ② 末政川・高馬川・真谷川で堤防が決壊した6箇所については、堤防の嵩上げ等の改良復旧工事が令和元年9月上旬までに完了。再度災害防止に向け、河川激甚災害対策特別緊急（激特）事業により、堤防嵩上げ、詳細設計、用地買収などを実施中。
- ③ 高梁川で堤防が決壊した2箇所については、堤防の嵩上げ等の改良復旧工事が令和元年6月末に完了。再度災害防止に向け、災害関連（関連）事業、河川災害復旧等関連緊急（復緊）事業および浸水対策重点地域緊急事業により、堤防嵩上げ、堤防整備、詳細設計、用地買収などを実施中。
- ④ 高梁川外17河川の約151箇所で、「3か年緊急対策」等により、集中的に河道掘削、樹木伐採を実施。今後は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等により引き続き実施する。

## 再度災害防止(激特、復緊、関連)の進捗状況(令和3年3月末時点)

真谷川		高馬川		末政川		高梁川(復緊)		高梁川(関連)	
用地	概ね完了	用地	概ね完了	用地	89%	用地	94%	用地	概ね完了
工事	67%	工事	55%	工事	39%	工事	40%	工事	概ね完了

## ②再度災害防止(激特)

真谷川	高馬川	末政川
<p>令和3年3月下旬撮影</p>	<p>令和3年3月下旬撮影</p>	<p>令和3年3月下旬撮影</p>
<p>【標準断面図】</p>	<p>【標準断面図】</p>	<p>【標準断面図】</p>

## ③再度災害防止(関連・復緊)

### 高梁川(総社市日羽)

令和3年3月撮影

高梁川

【標準断面図】

築堤 連節ブロック H.W.L.

## ④防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策

河道掘削(新見市長屋)

令和3年3月時点

河道掘削(高梁市川面町)

令和3年3月時点



## ①災害復旧

### 高梁川(高梁市落合町近辺)

高梁川

# ソフト対策の取り組み状況

「真備緊急治水対策プロジェクト」に基づき、国、岡山県、倉敷市の具体的な役割分担や実施時期等を定めた『真備地区アクションプラン』を踏まえ、各施策を推進中。前回会議(R3.1)以降の主な取り組みは以下の通り。

## ① 逃げ遅れゼロに向けた取り組み

- **マイ・タイムライン**の出前講座を実施(約1,000人(R2.2~R3.3))。
- 福祉事業所や民生委員、社会福祉協議会等と連携し、要配慮者の避難を地域で連携して実施する**要配慮者マイ・タイムライン**を推進、作成ヒント集をR2.10に公表。
- **要配慮者マイ・タイムラインを活用した避難訓練**を福祉事業所、地域と連携して実施(9月,11月)。
- **地域連携型要配慮者マイ・タイムライン**の普及・促進:劇団OiBokkeShi(オイボッケシ)によるミニドラマを制作し、事務所YouTubeチャンネルで配信

## ② その他の取り組み

- 令和2年度の工事予定や出水期における国・県・市の対応について、倉敷ケーブルテレビで放映(新型コロナ感染拡大防止対応)
- 工事進捗がわかる写真集を土木の日(11/18)に作成、配布
- 地域住民と連携して、住民参加型の河川管理について検討(マレットゴルフ、活用頻度の違いによる植生状況調査など)
- 「小田川ふれあい写真集」を作成し、井原鉄道列車内や真備町内の商業店舗等に掲示、配布

## ■ 逃げ遅れゼロに向けた取り組み

### ● 地域連携型 要配慮者マイ・タイムライン

- 地域の逃げ遅れゼロを達成するため、高齢者や障がい者など、避難に支援が必要な方を中心に「いつ」「どこに」「誰と」「どのように」避難するか決める取り組みを推進
- 要配慮者マイ・タイムラインを使用して実際に避難訓練を実施



作成の様子



地域の力を借りて  
自宅2階に避難(R2.7)



避難訓練の様子

- 劇団OiBokkeShi(オイボッケシ)によるミニドラマをYouTubeで配信



国交省、倉敷市情報共有訓練

## ■ その他の取り組み

### ● 地域連携 河川管理

- マレットゴルフ (毎週)



- 草刈りの頻度や、転圧の違いによる植生の変遷調査 (箭田地区まちづくり推進協議会 (河川協力団体))



### ● 小田川ふれあい写真集



真備町内の商業店舗に掲示



# 高梁川水系流域治水プロジェクト【位置図】

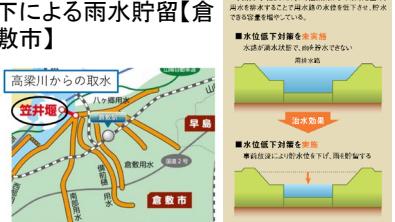
～平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と岡山の観光・工業の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高梁川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 高梁川は、下流部に岡山第二の都市の倉敷市街地が広がり、全国屈指の石油・鉄鋼等のコンビナートの水島工業地帯や岡山県一の観光地の倉敷美観地区があるなど、流域の観光・工業の基盤を成している。一方で、下流部は干拓等により形成されたゼロメートル地帯が広がり、河川氾濫が発生すると甚大な浸水被害が発生する恐れがある。また、小田川は河床勾配が緩やかでありバックウォーターの影響を受けるため、浸水被害が度々発生している。
- 平成30年7月洪水では浸水被害が発生したことを踏まえ、小田川合流点付替えや河道掘削、用水路の事前水位低下による雨水貯留の他、浸水リスクを考慮したまちづくり、マイ・タイムライン等による防災教育などを推進する。
- 以下の取り組みを実施していくことで、大臣管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指す。

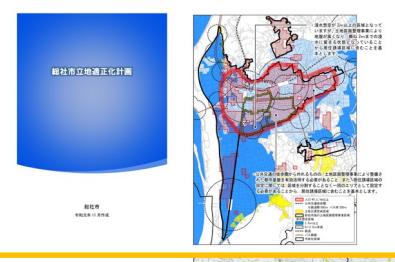
## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、堤防強化、河道掘削、小田川合流点付替え、笠井堰改築【倉敷市、岡山県、広島県、中国地整】
- ・ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市】
- ・下水処理場、ポンプ場（汚水・雨水）の耐水化計画策定の検討【倉敷市】
- ・貯留施設の新設【岡山市】
- ・雨水幹線の新設、雨水排水路の断面拡大【岡山市、井原市、新見市】
- ・雨水排水路の新設【総社市】
- ・排水ポンプの新設・増設・改良【岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、矢掛町】
- ・用水路から雨水管渠への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・可搬式排水ポンプの配備【岡山市、井原市、総社市】
- ・土砂流出対策施設の整備【岡山県、広島県、近畿中国森林管理局】
- ・利水ダム等20ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)、土地改良区等】
- ・ダム放流施設の機能増強【中国四国農政局】
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市、倉敷市、早島町】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・補助制度を活用した流出抑制や各戸貯留施設設置の推進【岡山市、倉敷市】
- ・森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、広島県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備、貯留施設・透水性舗装の検討【岡山市、倉敷市、中国地整】等

## 用水路の事前水位低下による雨水貯留【倉敷市】



## 立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【総社市】



## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市、総社市、高梁市】
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【倉敷市、新見市、矢掛町】
- ・災害リスクが高いエリアの土地利用規制・建築規制等の検討【倉敷市】

## 【位置図】



凡例

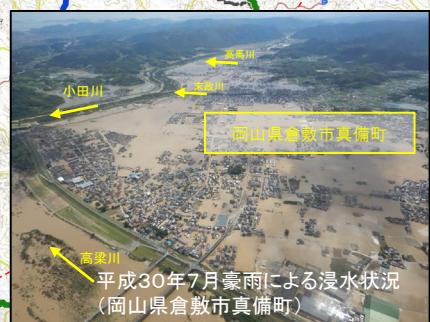
- 排水ポンプの新設・増設・改良
- 大臣管理区間
- 流域界
- 浸水想定区域(計画規模)
- 浸水想定区域(想定最大規模)

## 全市立小学校で逃げキッドを教材に採用【倉敷市】※西日本初の取組



## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・止水板設置に対する助成【岡山市】
- ・水害リスク情報空白域の解消・縮小【岡山県】
- ・防災まちづくり総合支援事業費補助金の活用、推進【高梁市】
- ・防災拠点施設、避難路の整備【倉敷市、総社市、新見市、岡山県】
- ・緊急時の避難場所の確保【倉敷市】
- ・AI技術を活用した避難支援システムの開発【高梁市】
- ・LINEやSNS等を活用した被害状況の共有【倉敷市、総社市】
- ・SNSを活用した避難情報の発信【倉敷市、矢掛町】
- ・防災行政無線の音声スマートフォンアプリへ配信【早島町】
- ・関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
- ・全市立小学校で逃げキッドを教材に採用【倉敷市】
- ・マイ・タイムライン等による防災教育
- ・要配慮者マイ・タイムラインの普及【倉敷市、中国地整】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
 ※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。

# 高梁川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と岡山の観光・工業の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 高梁川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰し、流域に関連する機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 真備緊急治水対策プロジェクトによる河川のハード対策の完了により、再度災害の防止を図る。また、浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討や計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進を図る。被害軽減策については、水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供、マイ・タイムライン等による防災教育などを実施し、逃げ遅れゼロを目指す。
- 【中期・中長期】 高梁川水系下流・中流・上流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進及び上記の被害軽減策について、継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高梁川下流部の浸水被害を防止するため、堤防整備を実施	中国地整	高梁川下流部	小田川合流点付替え事業完了		
	真備緊急治水対策プロジェクトの推進	中国地整、岡山県、倉敷市	小田川・末政川・高馬川・真谷川・大武谷川・背谷川・内山谷川		河川整備基本方針に向けて対策を推進	
	改良復旧事業の推進	岡山県	高梁川			
	高梁川水系下流・中流・上流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備等を実施	中国地整 岡山県 広島県	河道掘削を実施（広島県）	高梁川水系下流部（高梁川）		高梁川水系中流・上流部（高梁川・小田川・稲木川・林田川）
	内水被害を軽減するため、排水ポンプの新設・増設・改良、雨水排水路の断面拡大等を実施	岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、矢掛町		成羽川		
	土砂流出対策施設の整備	岡山県、広島県、近畿中国森林管理局				
	利水ダム等20ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	岡山県、中国電力（株）、土地改良区 等				
	大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成	岡山市				
	用水路の事前水位低下による雨水貯留	岡山市、倉敷市、早島町				
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討	岡山市、倉敷市、総社市、高梁市、新見市、矢掛町	立地適正化計画策定済み（岡山市、総社市、高梁市）			
	災害リスクが高いエリアの土地利用規制・建築規制等の検討	倉敷市				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供	岡山県、広島県、中国地整	立地適正化計画策定済み（岡山市、総社市、高梁市）	WEB配信の実施 適切な維持管理と継続的な提供（岡山県、広島県、中国地整）		
	マイ・タイムライン等による防災教育	市町（岡山県、広島県、中国地整）		防災教育の実施（市町） 出前講座等の実施（岡山県、広島県、中国地整）		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

■事業規模

河川対策	（約1,029億円）
砂防対策	（約63億円）
下水道対策	（約286億円）

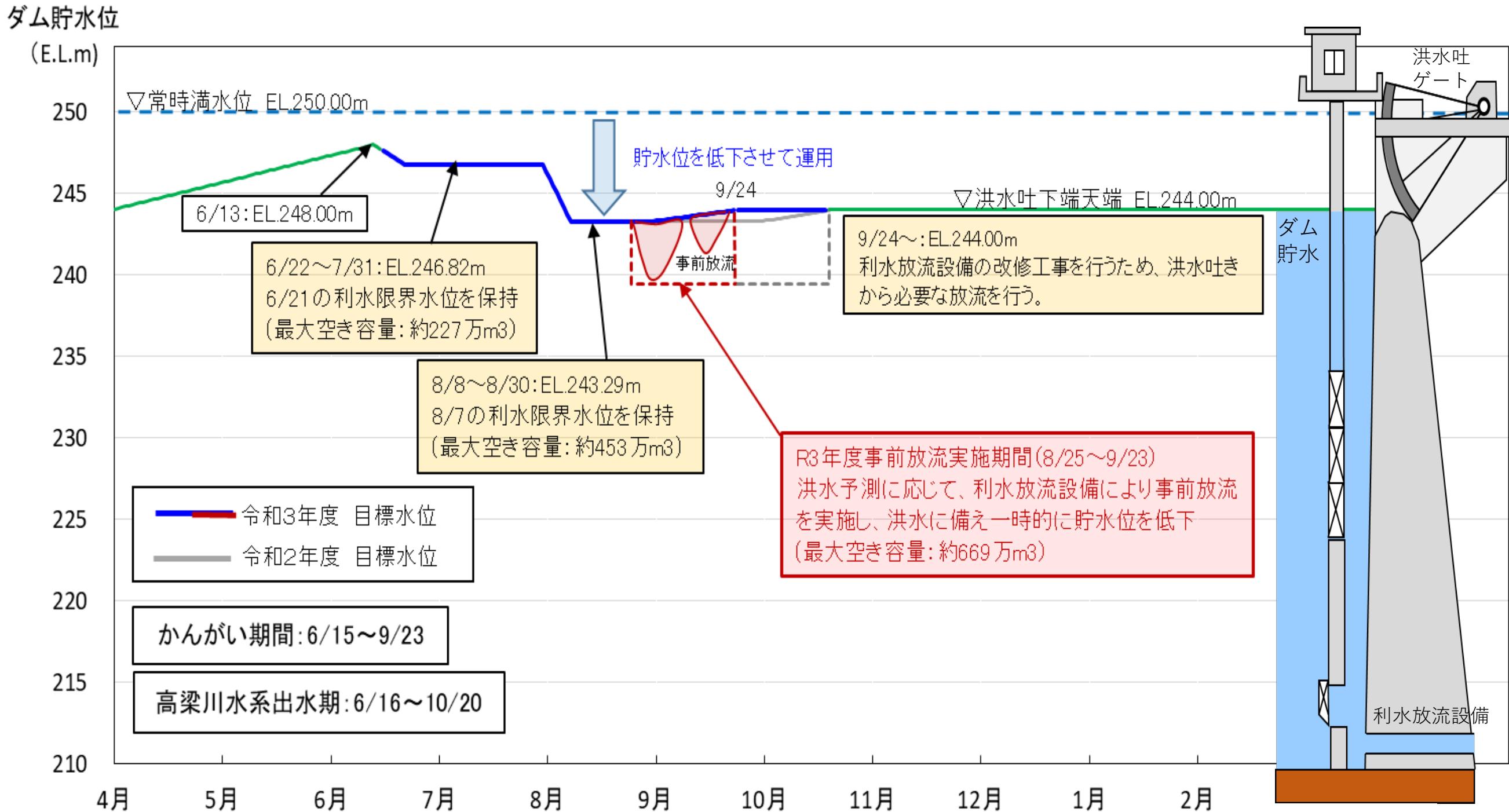
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

## (2) 高梁川上流ダム群の取り組み状況

---

令和3年5月17日

- 令和2年度に締結した治水協定に則り、突発的な集中豪雨に対して安全なダム管理と河川の洪水調節に寄与すべく、あらかじめ貯水位を低下させておくことにより、ダムの空き容量を確保する。
- また、8月25日～9月23日の期間については、貯水位を低下させた運用に加え、洪水の予測に応じて事前放流を実施することにより、空き容量を一時的に増加させる運用を行う。



# ダム画像公開に向けた取り組み状況について【中国電力】

## 《取り組み内容》

平成30年7月豪雨において高梁川水系で河川の氾濫等、甚大な被害が発生したことから、関係自治体・地元住民等から治水協力について強く要請された。

治水協力の一環として、「新成羽川ダム」・「田原ダム」・「黒鳥ダム」の放流状況を当社ホームページ上へ公開する準備を進めている。

## 《当社ホームページ概要》

- ◆ 本年6月下旬の公開を予定。
- ◆ 5分更新でダムの静止画を表示。
- ◆ 保守や回線状態等により、配信の停止や周辺状況確認のため、一時的に撮影方向が変わる場合あり。
- ◆ 当社HPへの画像公開とは別に、吉備ケーブルテレビへの動画公開が計画されている。

The screenshot shows the website interface for Chugoku Electric Power Co., Ltd. (Energia). At the top, there is a navigation menu with options: '個人のお客さま' (Individual Customers), '法人のお客さま' (Corporate Customers), '企業・IR・採用情報' (Corporate/IR/Recruitment Information), and '企業・IR・採用情報' (Corporate/IR/Recruitment Information). Below the navigation, the main heading is 'ダム画像一覧（高梁川水系）' (Dam Image Gallery (Takachi River System)). There are three sections, each with a title and a corresponding image:

- 新成羽川ダム** (Shinseiha River Dam): The image shows a wide view of the dam structure with a timestamp of 2021-04-09 14:32:05.
- 田原ダム** (Tahara Dam): The image shows a close-up of the dam's spillway with a timestamp of 2021-04-09 14:32:12. A red box highlights the timestamp, and a text overlay reads '状況の日時を表示' (Display date and time of status).
- 黒鳥ダム** (Kurotori Dam): The image shows a close-up of the dam's spillway with a timestamp of 2021-04-09 14:32:17.

【中国電力HP掲載イメージ】